

全員協議会会議録

1. 日 時 平成27年7月2日(木)
9時56分開会 11時20分閉会
2. 場 所 役場3階第2委員会室
3. 出席議員 鈴木孝寿・桜井崇裕・北村光明・高橋政悦・佐藤幸一・木村好孝
原 紀夫・口田邦男・中島里司・奥秋康子・安田 薫・西山輝和
議長：加来良明
4. 事務局 事務局長：佐藤秀美、係長：渋谷直親
5. 説明員 副町長：金田正樹 教育長：伊藤 登 総務課長：小笠原清隆
学校教育課長：上出 進 子育て支援課長：真野 篤
給食センター長：石津博徳
6. 議 件
 - (1) 教育委員会からの申し出事項
 - ①学校給食における異物混入について
 - (2) 町長からの申し出事項
 - ①御影保育所給食時における骨破片の混入について
 - (3) その他

加味議長：ただいまから全員協議会を開催する。議中についてはご案内のとおり、(1) 学校給食における混入について、(2) 御影保育所給食時における骨破片の混入について、昨日の夕方執行側と教育委員会の方から報道に出る前に議員に説明したいということで、急遽全員協議会を開催する申し入れを受けた。

さっそく議件の方に入る。最初に副町長の方から挨拶を兼ねて説明を願う。

金田副町長：6月定例会終了直後のお忙しい中、急遽のご参集大変ありがとうございました。日頃より、給食の提供につきましては安全・安心なものを提供するために細心の注意をはらって準備をしているが、今回、異物混入が発生した。この後、担当からそれぞれ概要について説明をする。昨日、保護者の方にはすでに周知をさせている。今後、議員にも問い合わせがあると思うが、その点について配慮を願う。

なお、町長は、元幕別町長の葬儀に出席しているため欠席している。

加味議長：さっそく担当課より説明願う。最初に学校給食における異物混入について、教育長から説明願う。

伊藤教育長：大変お忙しい中、議長にお願いして全員協議会を開催してもらい、大変ありがとうございます。

学校給食においては、昨日、給食時に異物混入が発覚し、その後の対応についてはマニュアルに従って対応した。詳しくは上出課長の方から説明をする。いずれにしても、生徒、学校、保護者の方々に多大なるご心配とご迷惑をおかけし、お詫びを申し上げているところである。今後についても細心の注意を払いながら学校給食の提供を心掛けたいと思いますので、理解を願う。

加味議長：説明の前に実物と写真があるので、確認願う。

上出課長：写真の方が学校教育課で説明するもの。7月1日に学校給食にプラスチック破片の異物の混入があり、学校給食における危機管理マニュアルに基づき対応した。昨日は教育委員の学校訪問があり、清水中学校に12時45分に到着した際に教頭より報告を受けた。内容としては、清水中学校の1年B組の生徒1人からけんちん風汁を食べた際、縦横1cmほどの透明のプラスチック片が入っていたということから、担任はただちに喫食を停止し、養護教諭に報告。養護教諭から給食センターに報告し、給食センター長は当該異物を持ち帰り確認を行ったが、本日納品された食材の梱包容器等には当該プラスチック材を使用したものがないことから、原因が特定できず、現在納入業者を含め原因究明にあたっている。なお、給食直後から下校までの間に生徒の健康被害がないことを確認しているが、危機管理マニュアルに基づき、清水中学校1年B組の保護者あてへのお詫びと現状説明について、更に体調に異常があった場合は連絡をもらえるよう、生徒を通じ文書を配布した。これまでの異物混入を受け、調理の現場では異物となる可能性を排除する策として、器具の点検を細目に行い、野菜は3度洗うなど、食材の洗浄を徹底していることや容器を開封する際におよぎはがさない、一旦容器を保管するなど、可能な限りの対策をとったが、結果的に異物が混入してしまったことは大変申し訳ない。

子どもたちが口にするものですし、たび重なる事実を重大に受け止め、今後は下処理室で容器開封を行うなど、異物混入の防止策を徹底するとともに対応については今後とも学校給食における危機管理マニュアルに基づいて迅速に行い、安全・安心で信頼される給食を提供するよう努める。

加味議長：担当課より説明があったが、質問はあるか。

高橋議員：経過はわかるが、保護者に出した通知書と危機管理マニュアルを見せてほしい。

(危機管理マニュアル書付)

安田議員：プラスチック片についてももう少し説明願う。

石津センター長：皆さまにご迷惑をかけて申し訳ない。厚さは0.5mmほどで、物については包装等の容器のプラスチック片と判断している。先ほど説明したように、そのものを使用した例がなく、特定できていない。

(通知文書書付)

高橋議員：連絡先が学校給食センター長と学校教育課長になっているが、対応について統一されたマニュアルはあるのか。

上出課長：危機管理マニュアルに基づいて、どちらからも連絡があれば情報を共有し、教育長と相談しながら対応する。

【休憩 10 : 09】

加味議長：休憩前に引き続き会議を開きます。

【再開 10 : 12】

北村議員：危機管理マニュアルをさっと見たが、今回は学校内での異物発見時の対応①、②、③と該当しないと思う。

上出課長：私どもは②に該当すると考えた。

桜井議員：教育委員はどういう経緯で来ていたのか。この時で教育委員からはどういう意見があったか。

上出課長：町内の学校訪問を予定していた日で、今日も御影方面の小中学校へ訪問している。午前中は清水小学校で訪問があり、給食を食べた後に午後からの日程である清水中学校へ到着し、その時ご報告を受けた。その場に教育長や教育委員長もいたので、その後の対応について協議をし、指示を受けた。

原議員：原因究明をしっかりとしないと後に繋がらないと思う。1cmなので、肉眼でもわかると思うが日常的な点検を

していても異常がないということか。

石津センター長：調理の際にも点検をし、当日報告を受けた後にも再度点検をしたが該当のものはない。

原議員：容器の破片なのか。

石津センター長：はい。

原議員：容器の数を押さえているのか。

石津センター長：正確な数を押さえていない。

上出課長：容器の破片とは確定していない。それに関わる容器も使用していないので、何かは不明。

原議員：今後はどうするか。

上出課長：現在つきこんにゃくの中にそういった破片が混ざっていなかったかを業者に確認している。

原議員：厳しいマニュアルをつくり、きめ細かく対応しているが、そのことで従事している方にプレッシャーがかかって逆効果になってはいないか。

石津センター長：真剣に調理をしているが、原因がはっきりしない例が何回もあり、これ以上調理員もを理的に追い込むことになる。

伊藤教育長：前回の事件以来、今年の春に給食センターへ行き、今後こういうことの無いようにマニュアルに沿って点検等やっていただきたい。プレッシャーとうことでではなく、通常やっている点検等を確実に理解してほしいということで話をした。

北木議員：給食等における異物混入の問題は食品衛生上の管理がされているかという、標準的な処理がされていない可能性が強いという証でもある。日常的に衛生管理がされているか、食材の取扱い管理がされているかが問われていると思う。チェックリストをもってちゃんとチェックをしているか、点検などの記録がされているか、いわゆるコンプライアンス違反があったかどうかを問われなければならない。原因がないとすれば胸を張って「私どもの管理上ではありえないが、こういうことが起きた」と言わないと、原因がわからないというだけでは、その現場に責任があったということになるので、そこをはっきりしてほしい。

いろいろな食材を検収するが、今回は容器ではないかということでこんにゃくを検収するときにあったのかなかったのか。見たときになかったという報告がないとおかしいので、そのことが管理されているか。

作業にあたった調理員の現場でのマニュアルに基づく管理がされているか、きちんとされているか町としての管理者がいるのか…(中断)。

加味議長：北木議員、一問一答です。

石津センター長：検収のチェックリストは納品等含め、調理も含めてつけて随時保管している。

伊藤教育長：2問目の質問に対してですが、原因がはっきりした場合、前回、ゴムべらを留めているリベットが混入していたということが半明したことがあったが、その場合はその会社との取引を停止している。原因がわからないという状況の中で詳しく話できない。

上出課長：今回の様子を見ると、つきこんにゃくの場合だと1つのタッグに大量に入っているの、検収でもチェックしきれないと思う。

町としての管理は、給食に関しては給食センターでチェックする責任がある。何かの事態があれば教育委員会の責任にもなる。

北木議員：こんにゃくに可能性があるという話でいいか。

石津センター長：業者の方へ確認中。

上出課長：現在考えられる範囲では確定しているものではない。考えられるのはそれくらいで、特定はしていない。

北木議員：他には考えられないと理解していいか。

石津センター長：はい。

北木議員：そこに原因がないければ他の原因を考えなければならない。これまでもあったが、追及の仕方に甘さがあるのではないか。

石津センター長：2月に混入したアルミ片は金属成分検査や納入業者の立ち入りなどをしたが特定できていない。

加味議長：対応に甘さがあるのではないかとこの質疑ですが。

北木議員：原因が特定されなければ再発防止は難しく、これからも起こり得るのではないか。

石津センター長：排除するために日々努力をする。

北木議員：作業している人に原因があるのではなく、システム上に問題があるからではないかと聞いたが、答弁はらない。

奥秋議員：こんにゃくには入りづらいのではないか。

上出課長：タッグに大量に入っている中に入っていたのではないかと考える。

奥秋議員：つきこんにゃくの中に入ってきたとは考えにくいと思う。

加味議長：つきこんにゃくと確定していない。

口田議員：わからないで困る。イコール「センターでは何をやっているのか」となる。原因だけ徹底的に調査をし、結果を見せてほしい。

伊藤教育長：今後も徹底して原因究明に努力する。

中島議員：絶対こういうことはないと思えないと思う。マニュアルどおりに処理しているから、調理場としては問

題はないという考えは違う。マニュアルをつくった原点の意識をしっかりと植えつける必要がある。3回洗うのはごみを落とすためだが、3回洗うというマニュアルが先に来てしまい、マニュアル通りにやれまいという考えになっていると思うが、現場ではどうみているのか。

伊藤教育長：マニュアルに沿ってではなく、危険が潜んでいるということで慎重に調理しなければならぬ。想定外なことも起こるので、ひと月に1回打ち合わせをしていきたい。

中島議員：異物が入っていたことがきっかけでマニュアルをつくったが、これは防ぐためのものであり、マニュアルを守るためにつくったわけではない。3回洗うのはできるだけ異物を排除するためなど、作業で一番大事なことをしっかりと認識する努力をしてほしい。

納入業者にも子どもが食べるものという緊張感を持ってもらいたい。また、町長は基本的に地元のものというが、競争原理を失っている気がするので競争原理を働かせてほしい。

石津センター長：納入業者の責任を明確にするようなものをつくるよう検討する。

中島議員：納入業者の意識として質問したつもりだが、その方法として競争原理を働かせるのも一つの方法ではないかと言っているだけで、そうしなさいとは言っていない。そういうのも検討材料。

物を納める緊張感を促す手当てもあってもらいたい。

伊藤教育長：貴重なご意見として受け止めたい。私の方からも地産地消ということで、地元からという意識もある。地元の方にはそういう部分も含めて、点検等を行ってから納入していただきたいという意識を植え付けたいと思う。今後についても地元業者だけではなく納入業者全般こわって徹底していきたい。

鈴木議員：先ほどの教育長の答弁の中で原因がわかったケースは具体的にいつ頃か参考までに教えてほしい。

伊藤教育長：帯広水産で製造した焼きちくわの中にリベットが入っていて、原因究明をした結果判明し、現在取り外している。振興局の方から業務停止を受けている。

鈴木議員：結構前の件か。

上出課長：発生は昨年8月27日。

鈴木議員：原因追究できているのは何件かあるが、依然として原因追究ができていないものもある。職員の方に言うと、職員全員辞めてしまう恐れがあるので心のケアをしっかりとしてほしい。納品業者は今まで1件も名前が出ていないが、それを誰が納品したかなどは資料はない。誰が納品してきたのか出すべきだと思う。なぜ隠すのか。それを出す予定はあるか。

複数回出ているが、どこの業者から納品しているのか一切出ていない。

石津センター長：納品した業者を種類ごとに発表することは可能だが、時間が欲しい。

鈴木議員：最終的に出すのは職員なので、責任を問われるのはしょうがないが、これだけ混入しているということは人為的なか本当に混入しているのかという問題だけしかない。どこの会社が給食センターに卸しているのかを徹底していかないと原因の追究までできないと思うが、やっているのか。

伊藤教育長：原因を追究する上では必要ではないかと思う。公表することを拒んでいるわけでも隠しているわけでもない。できれば、公にして原因追究できる状況をつくっていききたいと思う。

給食の大半は給食会から納入される食品が多く、そこで放射能検査などをし、安全性も含めて業者名を明らかにすることは可能だと思うが、検討させてほしい。

鈴木議員：ちくわの場合行政処分されているが、何かあったときの賠償責任があるので、納品業者が賠償責任保険に入っているか審査基準があったり、そういう部分で納品業者を選定するという考えはあるか。

石津センター長：管内状況を含めて十分検討させてほしい。

鈴木議員：現場で監視カメラを置くか、納品業者をどのように調べていくか。それができないのであれば、皆さんお弁当でお願いしますということになると思う。冷静に確認してないところを追及してほしい。

上出課長：納入業者の関係も日頃の点検項目として可能であるか検討したい。

西山議員：お詫び文書ほどまで出しているか。

上出課長：1年B組の生徒だけ。

西山議員：けんちゃん汁は清水中学校の1年B組だけしか食べてないのか。

上出課長：小中学校、幼稚園、熊牛保育所も同じように提供している。

西山議員：全校で食べているので他のところにも文書を出さないといけないのではないかと。

上出課長：今回は、被危険物の異物混入という扱いにさせていただき、当該学級の保護者に説明の文書で報告をした。

西山議員：この文書のほかにも全校に配付するとは考えていないか。

上出課長：経過等については各学校長に文書で報告する。

西山議員：生徒全員に出した方がいいのではないかと。事故が起きたのは1年Bだけだが、全校分を一緒につくっているので、お詫び文書は全校に出した方がいいと思う。

上出課長：現在は当該学級ごとどめているが、検討する。

木村議員：今回は原因がわからないが、センター給食システムである以上お膳付けできない問題が今後もあると思う。業者との関係や材料自体が単独給食の時と違って原材料を地元の方から購入し、顔を見ながら調理をしていくというシステムがなくなってしまったという問題が、今後も出てくると思う。調理場の問題ではなくても地域の方や父母の方が調理者への意見が出てくる。原材料の部分から点検をしていくとマニュアルなどでやっ

ているが、それに対応していく労働力、働いている人の人員配置や待遇が保障できているかの見直しは今後必要なのか。

金田副町長：職員に対する対応の質問だったと思う。先ほどプレッシャーの関係も出ていた。今回調理の段階で調理員が発見できたかということは疑問であるが、今後、調理していく中で調理員の責任が非常に厳しいと本人が受け止めていると思う。ただ、給食の実態といたしまして、食べる時間が決まっているので、それを逆算して時間に追われて調理をするということがないように人員の配置、勤務時間も含めて、余裕を持って仕事ができるような体制は早急につくっていかなくてはならないと思う。いずれにしても関係する調理員の方々に話し合いをして、実態をよく確認して無理があれば早急に改善していかねばならないと思っている。

木村議員：お願いします。

加味議長：質問がないようなので、(1) 学校給食における異物混入については、これで終了する。

(2) 御影保育所給食時における骨破片の混入について

加味議長：今、手元で混入した骨があるので、それを確認しながら説明を受ける。

真野課長：御影保育所給食時における骨破片の混入について、口頭で報告させていただく。7月1日(水)12時15分頃に鶏肉とアスパラのミルク煮の中に骨の破片を職員が見つけた。3歳児の担任が見つけたので、そのクラスで確認したが、ほとんど食べ終わっていた。また、他のクラスにも連絡して同じようなものはないか、子どもの被害状況等も確認したがその場ではなかった。

この日は67名が給食を食べ、職員や代替を合わせて16人が保育をしながら給食を取っていた。所長が調理員と一緒に材料の確認をし、販売元にも確認して現物を確認したところ、鳥の骨の破片ということになった。鳥のもも肉を半解凍状態にしたもので、それを子どもたちが食べられるように一口大に切った状態で調理をした。ただちに私の方に連絡が入り、栄養士と一緒に現場に出向き、現物の確認や納入業者への聞き取り等をした。鳥の加工施設工場の伝票等も確認でき、本社の方へ電話を入れ、骨の破片が入っていたとお話させてもらった。今後、この破片を会社へ送り、詳細について確認してもらおうと考えている。1か月足らずでこのような事態を招いたということに対し、保育所を利用されている方々、お子様ご健康被害はなかったということも聞いている。

業者等とも連携を取りながら早急に原因究明に努める。

桜井議員：給食では魚の骨が刺さったものはないのか。

石津センター長：給食で調理品の魚を納入しており、骨は除去されている。

伊藤教育長：カレーなどの骨は圧力をかけて食べても危険性のないように処理している。

桜井議員：鳥の骨と特定されているのでよろしくをお願いします。

鈴木議員：これは危機管理マニュアルに沿うような案件なのか。

真野課長：学校給食センターマニュアルが基本的にありましたし、各保育所等への指示や情報共有をしっかりとしていなかったということについて、先般触れさせていただきました。今回はそれを受けまして、マニュアルを検討し、印刷してそれぞれに配ろうとしている矢先のできことで、私どももいろいろと議論をし、栄養士も異物ではないということだが、飲み込める大きさであり、そういった情報をしっかりと議員にも報告するための機会を得た。

加味議長：骨は対象になるのか。

真野課長：栄養士との見解では異物ではない。

鈴木議員：子どもが食べるにはちょっと大きいと思う。隠さなかったことは評価できる。

加味議長：事件ではなく報告。

桜井議員：卵料理の卵の殻が入っていた場合はどうか。

真野課長：マニュアルを参考にしている。ものが違うからここまで示すことは考えられない。

加味議長：マニュアルの対象かではある。

口田議員：報告もありがたいが、過度に反応するのも考えた方がいいと思う。

金田副町長：異物とは思っていないが、幼児が口にすることは好ましくないものだと考えている。父兄にも連絡をしているので、変な話が流れてもこまるので、事前に報告をした。これだけであれば全員協議会は開いていない。

木村議員：前回の異物混入はどうなっているか。

真野課長：原因究明はまだ。

加味議長：ないようなので、(2)の申し出事項はこれで終わる。

【休憩 11:15】

(執行側退席)

【再開 11:16】

(3) その他

【休憩 11:17】

【再開 11:17】

加来議長：事務局の方から1点確認事項がある。

澁谷係長：7月7日の全道町村議会議員研修会の時間等の確認を行う。

【閉会 11:20】